

流域治水 シンポジウム

ひろしま 2024

広島県では、近年、平成30年7月豪雨や令和3年7月・8月豪雨などにより大規模な水災害が立て続けに発生しています。

「流域治水」という言葉をご存じでしょうか？
気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、行政だけでなく、川とともに暮らす地域住民や企業、関係者と協力し、流域全体で「水害に強い地域づくり」に取り組むという考え方です。



「流域治水」で

水災害に備える

開催日時

12/2^月

14:10~17:00
(開場13:30~)

場所

広島YMCA
国際文化センター

開場定員

200名

入場
無料

プログラム概要

概要説明

14:15~14:30

広島県における流域治水の推進について

主催者

広島県知事

湯崎 英彦

基調講演

14:30~15:20

14:30~14:50
異常気象の時代 天気予報でいのちを守る

講演者

気象予報士・防災士

勝丸 恭子

14:50~15:20
流域治水をみんなで着実、確実に進めるために

講演者

東京大学生産技術研究所教授・東京大学社会科学研究所特任教授

加藤 孝明

パネルディスカッション

15:30~16:55

テーマ 「流域治水」で水災害に備える

ファシリテーター

東京大学生産技術研究所教授・
社会科学研究所特任教授
加藤 孝明

気象予報士

気象予報士・防災士
勝丸 恭子

地域住民

広島市安佐北区落合学区自主防災会連合会会長
柳迫 長三

流域自治体(市)

竹原市長
今榮 敏彦

河川管理者(国)

国土交通省中国地方整備局河川計画課長
向田 清峻

河川管理者(県)

広島県土木建築局河川課長
水頭 顕治

主催：広島県

講演者プロフィール

TAKAAKI
KATO



KYOKO
KATSUMARU



基調講演 ファンリレーター

加藤 孝明

東京大学生産技術研究所教授・東京大学社会科学研究所特任教授

専門分野は、都市計画、まちづくり、地域安全システム学、防災。防災性評価技術を社会に結びつける「まちづくり支援技術」の開発を行う一方、「防災【も】まちづくり」を提唱し、防災を主軸とする総合的なまちづくりを実践。

「国土交通省流域治水の自分事化検討会委員」、「埼玉県地震被害想定調査検討委員会委員」等多数歴任。

基調講演 パネリスト

勝丸 恭子

気象予報士・防災士・太田川水系小瀬川水系流域治水大使

広島県出身。横浜国立大学を卒業後、広島の民放に就職し報道記者や中継ディレクターを務める。退職後に気象予報士の資格を取得し、2010年からNHK広島放送局気象キャスターとしてテレビ出演中。

2013年よりウェザーマップに所属し、自治体主催の防災フォーラムや市民講座での講演、イベント出演なども精力的に行う。

シンポジウムへのお申し込み

右記のQRコードからお申し込みを受付しております。項目に漏れなく記入の上、送信ボタンを押してください。

参加フォーマット記入内容

お名前(漢字・フリガナ) / メールアドレス

送信時点で参加申し込み完了します。



シンポジウム会場参加申込み締め切り: **11月28日(木)**まで

※お申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります。

YouTube 録画配信について

後日、シンポジウムの録画映像を
広島県土木建築局河川課のHPにて
公開予定

右のQRコードから
ご視聴いただけます。



視聴
無料

広島県土木建築局河川課

検索

開催会場

広島YMCA国際文化センター

〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀7-11



お問い合わせ先 広島県 土木建築局 河川課 河川企画グループ

TEL:082-513-3929 FAX:082-227-2206 メール:dokasenska@pref.hiroshima.lg.jp